

探索シリーズ③ 尊師歌碑の説明

平成21年4月19日 月次祭講話
碧南分所 藤浦直

三河本苑だより

ここから特に日出磨先生と高須先生の神縁が表れて参ります。側近の出口亨さんが背中を懸命におさすりしますが、効果が無かったそうです。そして咳は止まらず、食欲が衰えはじめ蜜柑の他全く食事を口にしなくなり衰弱が目立ちました。医者は風邪だろうと言われます。がしかし日出磨先生のお体を勧めても飲まれなかったようです。

須先生は日本で最初であったそうです。高須先生は日本で初めて日出磨先生によって臨床体験をしたのでありました。そして、高須先生は二代さまにこう断言しました。「肺結核ではありません。この病については、私が20年間研究したテーマであります。万全を尽くし必ず治させて頂きます。」二代さまは安堵され「そんなら日出磨さんは治るんやな、神さんは、水も

られませんでした。信じられないほどのほどの強靱な体力と気力でありました。高須令三先生の当時の日記に7月20日 側近の豊田氏より頑固な咳を鎮めて頂きたいの報あり8月9日 高熱、悪化、排膿の時期切迫か8月26日 病状は最悪の状態をしめした。知らせを受けた三代さまは、かけつけ、うつぶせになつ

毎に増えてきました。日出磨先生がこの様な病気になるられる二年前(昭和24年)高須先生は、竹田ではじめて日出磨先生に、ご面会されました。その時、日出磨先生は顔を見るなり「はるばる遠方から来てくれてご苦労さんであります。今後、いろいろ貴公にはお世話になります。と言われ、高須先生は、思いもよらぬお言葉であり、何のことだか解らなかつたそうです。ここでその意味が解けたそうです。

7時半(2千貫)の堂々たるものを見つけ、石刻師へ回しました。5月19日の大祭前日までに建立完成出来る様依頼しました。さて、このご染筆のお歌の原本がどこにあるか、行方がさっぱり解らないので、大騒ぎで探し、やと出口亨さんの息子さん、真弓さんの所に有ると言う事が解りました。立派なものであつたそうです。5月11日万松館のお庭に運びこまれました。お庭の一隅に西南に向け、教主館(万松館)からも良く見える様に据えられました。5月16日に準備完了しました。

●15日(土) 直心会緑寿館献勞 ●16日(日) 本苑4月月次祭 ●22日(土) 誠心会万祥殿献勞 ●29日(土) 直心会梅松苑 茶席奉仕 5月の行事 中止 ●21日(日) 本苑春季大祭・祖霊慰霊大祭・奉納冠沓句

「日出磨先生と高須先生の神縁」講話より②

「熱血(かつ)けつ)、高熱、咳の症状で肺結核と医師が診断するの無理の無い事でありましたが、精密検査の結果、やはり肺糸状菌の一種である事が突き止められました。医学的には医真菌というそうです。

「カンジダ」という菌で竹田での日出磨先生の発病も、この菌が原因していたらしいです。さて、高須先生は、昭和初期からこの医真菌学の研究をはじめ、この分野でさまざまな発見や対症療法の研究を重ねてみえました。高

漏らさぬ仕組と言われるが、本当やな、そんな珍しい病気の為、あんたを用意しておきなさんやな」と感激の面持ちでありました。さて、日出磨先生は、むしろい部屋の中、高熱にもかかわらず、どうすすめても横にならなかつたそうです。日出磨先生のお肉体は、常人とは、はなはだ異なる肉体の持ち主である事が証明されました。ご交霊と暮と染筆はその病状の中でも続け

た日出磨先生の背に手を置き、さすりながら「かんながらたまちはえませ」と唱え続けられました。30分程したとき、日出磨先生は血膿を洗面器一杯程、口から吐かれました。それが良かったそうです。これほどの膿だと、肋膜に孔があいてそこから、膿が出る場合があるといひます。そうならば命の保障はないそうです。しかし、その日から咳が止まり、熱も下がり体重も日

高須先生は、日出磨先生の病が落ち着いてから、その事を思い出し、その神妙の顛末に感無量となり、人間は、神の意図に操られて動いているものであると言っておられました。此処まで日出磨先生と高須先生の神縁を申し上げましたが、歌碑建立当時の様子を少し、お話しさせて頂きます。

昭和49年4月、岡崎の石工団地へ赴き、石材を選び高さ2m、幅が1m、厚さ30cm、目方は台を入れ

4月号
2023・4 No.491
(発行者) 大本三河本苑
〒443-0031 蒲郡市竹島町28-5
TEL.0533-69-7518
FAX0533-69-1455

令和5年春季大祭奉納冠沓句の募集
【冠沓句】
・ 変わりなく
・ 伝えたい
・ ありつたけ
【沓句題】
・ 恩を知る
【×切】4月16日(日)
(本苑4月月次祭)
※1人5句まで 芸術部

三河本苑公式LINE

↑ コチラから
本苑だより更新中

新聞ちぎり絵をしませんか?
場所：三河本苑 多目的室
日時：5月28日(日)
午前10時開始(2時間位)
参加費/300円 申込み/5月21日(日)まで
芸術部/高井、生田まで(参加費は当日頂きます)
お子さま大歓迎です。お孫さんと一緒にどう
ですか? 沢山のご参加お待ちしております。
手ぶらでお越しください。 芸術部

「マイ祝詞」「マイ箸」「マイボトル」「マイタオル」持参でお願いします

私の思い

米津支部
石川 信雄

「今 思うこと・・・」

会社を定年退職して2年を迎えます。当初は、さあ～いよいよ第2の人生が始まる、さて何をやろうかと張り切っておりました。

現実には、定期的に元職場の仲間と旅行や喫茶店での情報交換、昔読んだ本を読み直す。更には、お土になじむということで、駐車場の片隅で大根、きゅうり等を細々と作り、月次祭の神饌物として、少しでもお供えできればと楽しんでおります。

大本と私の日常生活でのつながりについては、私は2世の信者です。両親とも既に他界しておりますが、生前中は両親の後姿を育てて参りました。

幼い頃は、毎月決まった日に行なわれる月次祭に色々な人が家に来て、お参りをして楽しかった事を覚えております。実は直会でのご馳走が嬉しかったように思います。

社会人として会社での思い出は、会社の行事で無事故祈願祭に職場代表として出席して、玉串奉奠の作法があった時、日頃本苑、支部、自宅での経験が活かされ、自信をもってでき、ありがたく感じたことがありました。更には、仕事上で問題が発生したとき、愛読書である、三代教主補・出口日出麿尊師さま執筆の「生きがいの探求」等を読み直し、問題点の解決の糸口を教えてくださいました。

今年は両親が他界して、母25年、父10年を迎えます。先日は本部霊祭課から、父方の祖母100年祭の通知をいただき、早々祭祀料等の送付手続きを行い、自宅での月次祭でも供養させていただきました。

信仰のなか、大事なことはご先祖様の供養であり、さらには日々生活している中で、信仰の「おかげ」として、心のよりどころとさせていたいただきたいと思っております。

万松館のお庭で式典が開
始されました。教主さま
教主補さまのご名代とし
て当時、三諸聖子様、出口
薫子様お二方ご参列くだ
さり、三諸あかりさん、野
田栄さん(野田郷司様ご
次男)のお二人の可愛い手
で、紅白の綱がひかれ、真
新しい文字が現れ、感激の
一瞬が展開されました。
斎主高須先生が、朗詠を
二唱し、さらに参列者一同
で合唱して建碑式を終え
ました。

の祝辞が述べられたそう
ですが、感激のあまり声が
つまったそうです。参拝者
600名もあつたそうです。
日出麿先生は、「信仰の
要諦は、神を信じ神を理解
し、神を愛し、神の報ゆる
にあり」と申されていま
す。歌碑と高須先生につい
てお話をさせていただきま
したが、多少前後してい
る所も有り、お聞き苦し
かったかも知りませんが、
お許し下さい。ありがと
うございました。

この度、令和五年二月
三日開教百三十一年節分
大祭、瀬織津姫の典礼に
お出し、身の引き締まる
思いで務めさせて頂き
ました。長生殿の拜殿に
上がらせて頂き、教主
さまを間近に拝しなが
ら、お一人お一人の人型
を大難を小難にとしなが
ら壺に納めさせて頂き
ました。
また、厳寒の中、和知川
のご用では世界平和を祈

りつつ神言を奏上させて
頂きました。朝の四時半
迄心身共に大変ではあり
ましたが、あつという間
に時が過ぎて行ったよう
に感じました。
改めて瀬織津姫の典礼
のご用の大切さを噛み締
めながら、無事に終えさせ
て頂きました事に感謝の
気持ちで一杯です。そして、
多くの方々のご奉仕にも
感謝申し上げます。あり
がとうございました。

「節分大祭」典礼にお仕えして

直心会長
野田庸子

探索シリーズ④

尊師さま歌碑のお歌について

特任宣伝使 芝田豊海

信者さんより、歌碑について質問があり調
べてみました。
通常に詠まれる御歌は、
①「神ながら霊幸はえませ大本の不動の信に吾れ奮ひ
起つ」とあり

「かんながらたまちはえませおおもとのふどう
のしんにわれふるいたつ」と読まれています。

しかし実際、歌碑に刻まれている御歌は変体かなで
②「神奈から霊千者江えませ大本の不動乃信に吾連
奮ひ起つ 運」とあり

「かんながらたまちはえませおおもとのふどう
のしんにわれふるひたつ」と読まれる。

また、「神仙の人口日出麿」(P36)では、竹田時代に
③「惟神ながらたまちはえませ大本の不動の信にわれ
ふるいたつ」と書かれています。

【疑問1】どうして、3種類の御歌があるのでしょうか？

【疑問2】②の「吾連」を「あれ」ではなく「われ」と、
三河本苑では詠んでいます。良いのでしょうか？

《《前田特派にご回答を頂きました》》

《疑問1 回答》

①「かんながらたまちはえませおおもとのふどうの
しんにわれふるいたつ」

②「惟神ながらたまちはえませ大本の不動の
信にわれふるいたつ」

③ 3種類あるように思いますが、いずれも、
同じ読み方の読み下しなのです。

読み方としては1種類で考えたいだいたら
いいと思います。

《疑問2 回答》

「神奈から霊千者江えませ大本の不動乃信に
吾連奮ひ起つ 運」

「吾」ではなく「王」の変体仮名ではないでしょうか。
「吾」は「あ」となりますが、
「王」は「わ」と読むことができます。と思います。